

日本における第二次世界大戦の長期的影響に関する学際的シンポジウム2024

言葉にしえない複雑な記憶 — 戦争に関わる性暴力について考える

2024年12月14日(土)

14時～18時 (開場13時30分)

上智大学 12号館 301教室

※オンライン同時配信あり

講演

「アジア・太平洋戦争における性暴力の文化的トラウマ」

※逐次通訳あり

オイゲン・コウ

精神科医、立命館大学客員研究員、メルボルン大学

人口・国際保健学部上級研究員

報告

「戦時性暴力を演劇で伝える」

胡桃澤伸

精神科医、劇作家

報告

「語りえない性暴力体験を歴史に刻む」

平井和子

一橋大学ジェンダー社会科学研究センター客員研究員

コメント
司会

松永健聖 大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程
中村江里 上智大学文学部准教授

参加費：無料

以下のフォームもしくはQRコードからお申込みください。

<https://bit.ly/4hGDEQ>

主催：日本における第二次世界大戦の長期的影響に関する学際シンポジウム実行委員会

共催：上智大学文学部史学科

※本シンポジウムは、りそなアジア・オセアニア財団2024年度国際学術交流助成の助成を受けて実施されます。

